

# ICTで授業をDX!

学年 小学校6年 教科 国語 など

より伝えやすく、より分かりやすく! Teamsを活用して話し合いを楽しく活発に!

使用するアプリケーション等  
・ Microsoft PowerPoint  
・ Microsoft Teams  
・ Microsoft Forms

単元・題材 地域の防災について話し合おう

本時の目標 自分たちの立場や主張を明確にしなが、それぞれの役割を意識してパネルディスカッションに取り組もう。

## ICTを活用することでできること

- ・ Microsoft PowerPointを活用して発表資料を作成することによって、資料作成にかかる時間を削減したり、自分の主張の根拠となるグラフや表などの資料提示やアプリ内のアニメーション効果活用などの工夫をしたりすることで、より見る人に伝わりやすい資料作りができる。
- ・ Microsoft Teamsの会議機能を活用することで、提示する資料をタブレット上にリアルタイムで共有しながら発表したり、手元に表示することでより細かい部分まで情報を把握したりすることができる。
- ・ Microsoft Formsのアンケート作成機能を活用することで、アンケート集計・分析にかかる時間を削減し、端末内にデータを保存しているため、繰り返し集計結果を確認することができる。

## DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

### 1 導入

- ①パネルディスカッションを行うにあたって事前に準備した提示資料や準備物の用意をさせたり、進行のための段取りや各自の役割の確認させたりする。

### 2 展開

めあて 自分の立場や主張を明確にしなが、パネルディスカッションに取り組もう。  
課題 それぞれの立場や主張を読み取り、自分の役割を意識しながら活発なパネルディスカッションに取り組もう。

- ①それぞれが、パネリスト、司会、フロアに分かれ、自身の役割に沿って進行する。
  - 司会はパネルディスカッション全体の進行を行ったり、意見をまとめたりする。
  - パネリストはあらかじめ設定したテーマに対する自分の意見を発表し、意見交換を行う。資料等を用いなが、説明を行う。
  - フロアはパネリストの意見に対し、意見や質問を行う。
  - それぞれの役割を意識してパネルディスカッションを行い、テーマに対する理解を深める。

### 3 まとめ

- ①パネルディスカッションを実施してみて、感じたこと、もっと活発な議論にするために意識すべきことについて話し合う。

ディスカッションを活発に行うためには、それぞれの役割をしっかりと理解し、自分の意見をはっきりと相手に伝えたり、相手の主張を的確に読み取ったりしながら取り組むことが大切である。

- ②本時の振り返り・次時のパネルディスカッションで意識したいことをノートに書く。

DX!

## DX後 (赤字はICT活用場面)

### 1 導入

- ①**拡大モニターでパネルディスカッションの映像を見て、進行を確認する。**
  - 各自の役割を具体的にイメージさせるために、実際のパネルディスカッションの様子を見せる。一回で理解できない場合は、**各自の端末に動画のURLを送り、いつでも確認できるようにしておく。**
- ②**事前に端末で撮影した進行の練習映像を見返したり、Microsoft Formsで集計したアンケート結果を確認したりして、パネルディスカッションの実施に備える。**

### 2 展開

めあて 自分の立場や主張を明確にしなが、パネルディスカッションに取り組もう。  
課題 それぞれの立場や主張を読み取り、自分の役割を意識しながら活発なパネルディスカッションに取り組もう。

- ①それぞれが、パネリスト、司会、フロアに分かれ、自身の役割に沿って進行する。
  - 司会はパネルディスカッション全体の進行を行ったり、意見をまとめたりする。
  - パネリストは**Microsoft PowerPointで作成した発表資料を用い**、あらかじめ設定したテーマに対する自分の意見を発表し、意見交換を行う。
  - パネリストが発表する際、**Microsoft Teamsの会議機能を利用して、フロアの児童一人一人の端末や拡大モニターに発表資料を映し出し、発表を聞くと同時に資料を確認する。**
  - フロアはパネリストの意見に対し、意見や質問を行う。
  - フロアから出た質問や意見に対してパネリストが返答を行う際、あらかじめ用意していた**資料を端末で提示しながら返答を行う。**



### 3 まとめ

- ①パネルディスカッションを実施してみて、感じたこと、もっと活発な議論にするために意識すべきことについて話し合う。

ディスカッションを活発に行うためには、それぞれの役割をしっかりと理解し、自分の意見をはっきりと相手に伝えたり、相手の主張を的確に読み取ったりしながら取り組むことが大切である。

- ②本時の振り返り・次時のパネルディスカッションで意識したいことを**端末上で書く。**

## 授業者から (成果・課題・留意点)

今回タブレットを活用した授業を行って、「テーマや伝えたいことに合わせた資料作りが、早く、簡単に行えるようになった」こと、「練習の様子を撮影し、客観的に見て文章や進行の仕方を反省・修正できるようになった」こと、「資料をタブレット上で共有し、発表と資料の確認を同時進行でできるようになった」ことが成果として挙げられるのではないかと考えた。

しかし、資料作りばかり注力してしまい、自分の主張を伝える文章が疎かになってしまう児童も少なからずいたので、文章をしっかりと考えさせる場面とタブレットの活用場面のバランスを取ることが大切である。